2025 年 10 月 14 日
株式会社サイエンスアーツ（東証グロース:4412）

大阪・関西万博の警備へ、Buddycom の MAP 通話に新機能を開発・提供
万博での事例を横展開し、警備・災害対応の DX を加速

株式会社サイエンスアーツ（所在地：東京都渋谷区、代表取締役社長：平岡 秀一）が提供する、フロントラインワーカーをつなげるライブコミュニケーションプラットフォーム「Buddycom（バディコム）」は、「2025 年日本国際博覧会（以下、「大阪・関西万博」）」における場内警備において、警備会社様との協力のもとご活用いただきました。この度、閉幕を迎えるにあたり、万博協会よりご要望いただき、新機能「地図に画像を重ねて表示」を開発し、試験提供したことをお知らせします。今後、本事例・機能をもとに警備を始めとした現場への Buddycom の導入を加速させてまいります。

サイエンスアーツは、大阪・関西万博の会場内における警備体制を支えるため、警備本部と警備員、および警備員同士の迅速な連携を目的に Buddycom をサプライヤー協賛として提供し、大阪・関西万博の安全と安心に貢献することができました。

大阪・関西万博においては、万博会場特有の広大で複雑な施設配置や、高密度な来場者動線への対応が求められました。その中で、より詳細な会場情報を地図上に表示したいというご要望を受け、当社は新機能「地図に画像を重ねて表示」を開発・試験提供しました。

本機能は Buddycom の MAP 通話機能において、Google や Apple の標準地図に加え、任意の画像ファイル（PNG/JPEG など）を重ね合わせて表示できる機能です。これにより、以下のような運用を実現します。

- 社外非公開の施設配置図や警備配置図を地図上に反映
- イベント会場などの屋外マップを表示し、人員配置と連携を容易に
- 危険エリア、立ち入り制限区域などを視覚的に共有

【今後の展望】

サイエンスアーツでは、この度の大阪・関西万博における場内警備の活用事例と新機能によって、警備を始めとした現場への展開を強化してまいります。また今後も大阪・関西万博での経験を糧に、国内外の多様な現場を支えるインフラとして、Buddycom はさらなる進化を続けます。

■Buddycom とは （ https://buddycom.net/ ）

フロントラインワーカーをつなげるライブコミュニケーションプラットフォーム「Buddycom」は、インターネット通信網（4G、5G、Wi-Fi）を利用して、スマートフォンやタブレットにアプリをインストールすることで、トランシーバーや無線機のように複数人と同時コミュニケーションを可能にするサービスです。音声、テキストチャット、動画、位置情報(IoT)に加え、AI を利用したデジタルアシスタントでのコミュニケーションが可能です。利用実績は、航空、鉄道、建設、福祉施設、流通など様々な業種にわたり、コミュニケーション手段としての活用がされています。

株式会社サイエンスアーツ　について

サイエンスアーツは、「フロントラインワーカーに未来の DX を提供し、明るく笑顔で働ける社会の力となる」ことをミッションとして掲げ、フロントラインワーカーをつなげるライブコミュニケーションプラットフォーム「Buddycom」の開発・販売を行っております。2021 年に東証マザーズに上場（現在はグロースに移行）し、現在では 5 年連続シェア No.1※を獲得しました。今後も、スタッフ間コミュニケーションに留まらず、スタッフとお客様、スタッフと AI を美しくつなげることで、フロントラインワーカーが明るく笑顔で働ける社会を目指してまいります。

※音声（映像）コミュニケーションツール出荷金額・社数（ノンデスクワーカー向け）デロイト トーマツ ミック経済研究所「デスクレス SaaS 市場の実態と展望 2025 年度版」

◆　お問い合わせ先

【社名】 株式会社サイエンスアーツ
【設立】 2003 年 9 月
【所在地】 東京都渋谷区渋谷 1 丁目 2−5 MFPR 渋谷ビル 5F
【E-mail】 pr@science-arts.com
【代表取締役社長】 平岡 秀一
【Web サイト】 https://science-arts.com/
【資本金】 4.5 億円